

# 東播都市計画ごみ焼却場の変更について

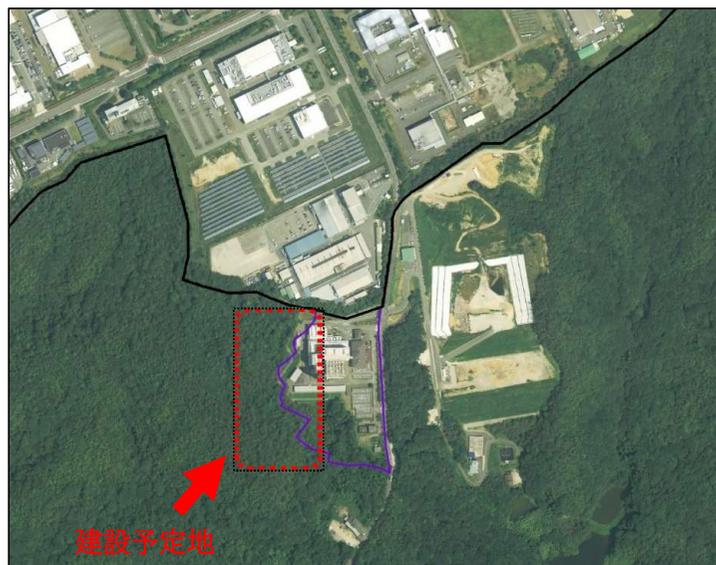
令和6年7月9日  
三木市環境政策課

# 次期ごみ処理施設の進捗状況について(1)

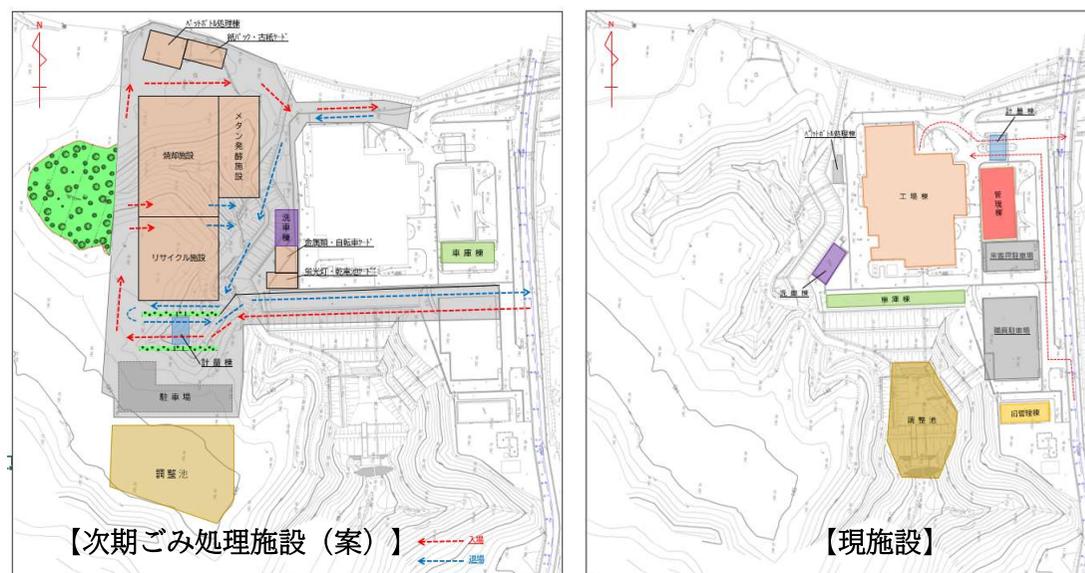
## 1 基本設計（令和4年度）の概要

項目	内容
建設予定地	三木市加佐字八家王山1250他(現施設西側)
処理方式	ハイブリッド方式(メタン発酵施設+焼却施設)
施設及び処理能力	メタン発酵施設 約35 t/日(1基)、焼却施設 約70 t/日(1炉) 粗大ごみ処理施設 約19 t/日、資源ごみ貯留ヤード
都市計画決定の範囲	3.5ha

## 2 施設位置図



## 3 施設全体配置図(案)



# 次期ごみ処理施設の進捗状況について(2)

## 4 事業の経過

令和2年度 基本構想

令和3年度 基本計画

令和4年度 基本設計、生活環境影響調査（夏・秋・冬）、第59回都市計画審議会

令和5年度 コスト縮減検討、生活環境影響調査（春）、第60回都市計画審議会



### 生活環境影響調査とは

- ・ごみ処理施設の整備にあたり法律で義務付けられている調査
- ・周辺地域の生活環境に及ぼす影響を調査・予測し、対策の実施
- ・調査は四季調査で行い、測定項目は気象及び大気質、騒音、振動、悪臭

### 進捗状況について

- ・現在、現況調査自体は終了しており、異常は認められない。
- ・最終の報告については、次回以降の都市計画審議会にて報告予定

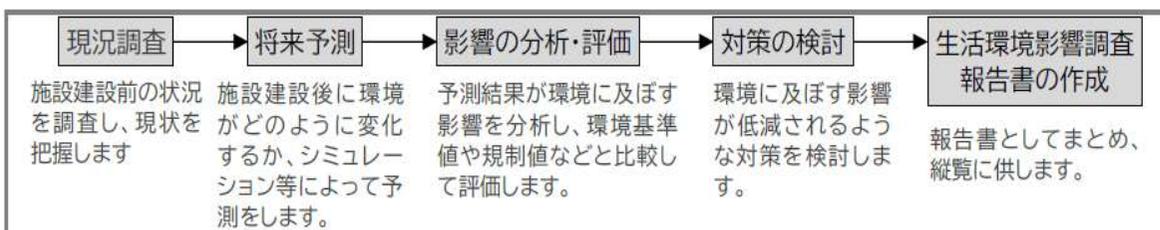
# 生活環境影響調査について(1)

## 1 調査項目

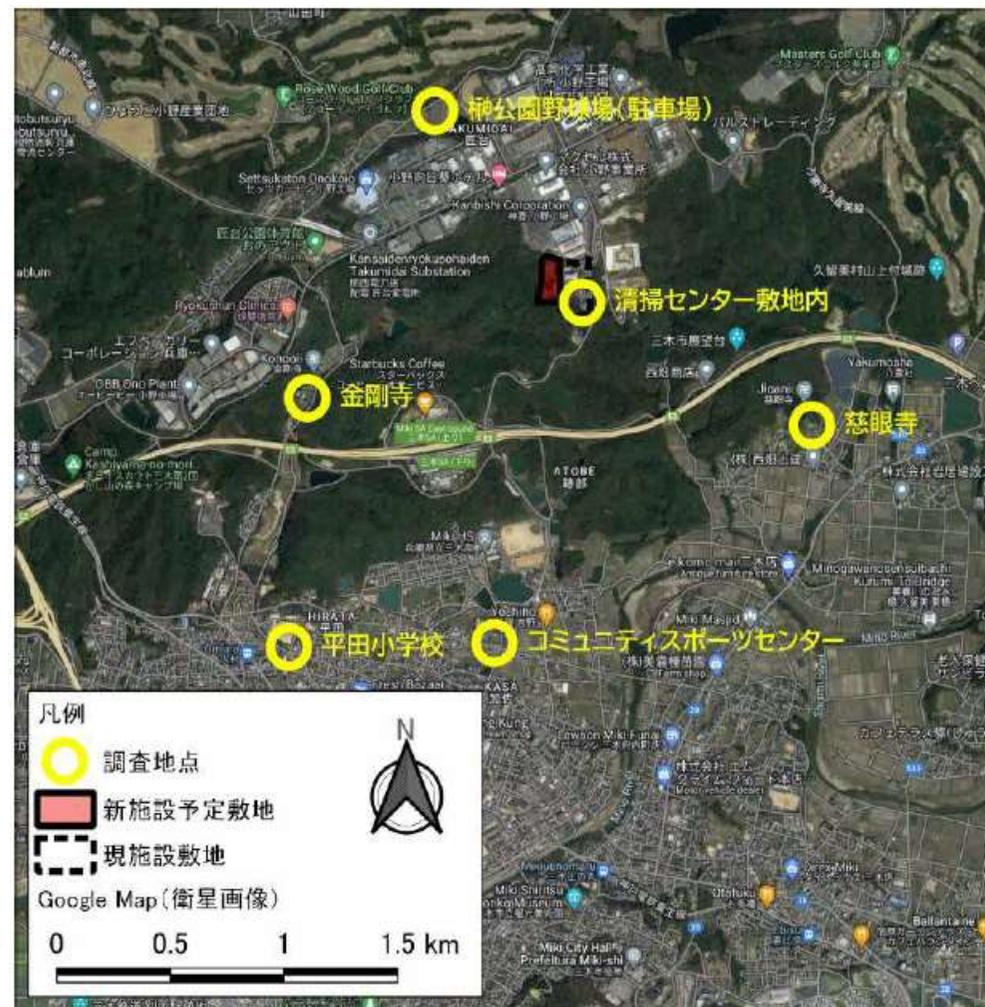
調査項目	生活環境影響要因					
	生活環境影響調査項目	煙突排ガスの排出	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気環境	a.二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	☑				
	b.二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	☑				☑
	c.浮遊粒子状物質(SPM)	☑				☑
	d.塩化水素(HCL)	☑				
	e.水銀	☑				
	f.ダイオキシン類	☑				
騒音	騒音レベル			☑		☑
振動	振動レベル			☑		☑
悪臭	特定悪臭物質濃度 または臭気指数(臭気濃度)	☑			☑	

## 2 調査方法

生活環境影響調査指針（環境省廃棄物・リサイクル対策部）に沿って実施



## 3 調査場所



# 生活環境影響調査について(2)



## 3 大気質

### (1) 長期濃度予測結果

物質名	単位	長期濃度予測結果		
		将来濃度	基準値	適合状況
a.二酸化硫黄	ppm	0.0059	0.04	○
b.二酸化窒素	ppm	0.0218	0.04	○
c.浮遊粒子状物質	mg/m <sup>3</sup>	0.0378	0.1	○
e.ダイオキシン類	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.0142	0.6	○
f.水銀	ng/m <sup>3</sup>	0.3610	40	○

長期濃度予測…年間平均値  
短期濃度予測…1時間値の濃度が最大

### (2) 短期濃度予測結果

物質名	単位	短期濃度予測結果			
		濃度が最大となる気象条件	将来濃度最大値	基準値	適合状況
a.二酸化硫黄	ppm	接地逆転層崩壊時	0.0181	0.1	○
b.二酸化窒素	ppm	接地逆転層崩壊時	0.0824	0.1	○
c.浮遊粒子状物質	mg/m <sup>3</sup>	ダウンウォッシュ発生時	0.0902	0.2	○
d.塩化水素	ppm	接地逆転層崩壊時	0.0051	0.02	○

# 生活環境影響調査の結果(1)



## 1 騒音

### (1) 騒音の予測結果

時間帯	バックグラウンド 騒音レベル(dB)	本事業による騒音予 測結果(dB)	重合後の予測 騒音レベル(dB)	規制基準 (dB)	適合 状況
	A	B	C=AとBの重合		
朝 6:00~8:00	48.9	38.3	49.3	50	○
昼 8:00~18:00	49.4	38.3	49.7	60	○
夕 18:00~22:00	48.5	38.3	48.9	50	○
夜 22:00~6:00	48.9	38.3	49.3	45	×

### (2) 騒音の目安

場所・建物等	騒音レベル(dB)	場所・建物等	騒音レベル(dB)
パチンコ店内	90	役所等の窓口周辺	50~60
在来鉄道の車内	70~80	昼間の町の戸建住宅地	40~50
電車・新幹線の車内	60~70	夜間の町の戸建住宅地	30~40

出典:騒音の目安作成結果について(全国環境研協議会)

- 三木市では第2種区域のため基準値が45dbと低い
- 敷地北側の隣接市では工業専用区域のため、基準値が60dbであり、周辺工場の影響を受ける
- 夜間は、樹木など自然の音の影響も考えられる

# 生活環境影響調査の結果(2)

## 2 振動

### (1) 振動の予測結果

時間帯	バックグラウンド 振動レベル(dB)	本事業による振動 予測結果(dB)	重合後の予測 振動レベル(dB)	規制基準 (dB)	適合 状況
	A	B	C=AとBの重合		
昼 8:00~19:00	44	52.0	52.6	60	○
夜 19:00~8:00	33	52.0	52.1	55	○



# 生活環境影響調査の結果(3)



## 3 悪臭

### (1) 悪臭(濃度)の調査結果

項目	単位	夏季調査結果		冬季調査結果		規制基準	適合状況
		敷地南側	敷地北側	敷地南側	敷地北側		
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	○
メチルメルカプタン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	○
硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	○
硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	○
二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009	○
トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005	○
アセトアルデヒド	ppm	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	○
プロピオンアルデヒド	ppm	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	○
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009	○
イソブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	○
ノルマルバレルアルデヒド	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009	○
イソバレルアルデヒド	ppm	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003	○
イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9	○
酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3	○
メチルイソブチルケトン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	○
トルエン	ppm	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	10	○
スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4	○
キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	○
プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03	○
ノルマル酪酸	ppm	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.001	○
ノルマル吉草酸	ppm	<0.00009	<0.00009	<0.00009	<0.00009	0.0009	○
イソ吉草酸	ppm	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.001	○

# 生活環境影響調査の結果(4)



## 5 悪臭

### (2) 悪臭(臭気指数)の調査結果

項目	将来予測結果
最大着地濃度地点における臭気指数	8.2
気象条件	風速:0.7 m/s、風向:西北西、大気安定度:B 最大着地濃度地点:施設西側 約50m

### (3) 臭気の日安

臭気強度	6段階臭気強度表示法における目安	ごみ焼却場における臭気指数
0	無臭	10未満
1	やっと関知できるにおい	
2	何のにおいかわかる弱いにおい	
2.5	(2と3のあいだ)	10
3	楽に感知できるにおい	13
3.5	(3と4のあいだ)	15
4	強いにおい	15以上
5	強烈なにおい	

出典:臭気指数規制ガイドライン(平成13年 環境省環境管理局)

# 生活環境影響調査の結果(5)

## 6 廃棄物運搬車両の走行による影響



### (1) 調査地点



### (2) 排気ガス予測濃度結果

項目	二酸化窒素				浮遊粒子状物質			
	加佐西農作業所		コミュニティスポーツセンター		加佐西農作業所		コミュニティスポーツセンター	
	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り
単位	(ppm)		(ppm)		(mg/m <sup>3</sup> )		(mg/m <sup>3</sup> )	
バックグラウンド濃度	0.019		0.018		0.017		0.029	
廃棄物運搬車両の走行による排ガス予測濃度	0.000014	0.000015	0.000004	0.000004	0.000005	0.000006	0.000001	0.000001
将来濃度 (バックグラウンド+予測濃度)	0.019014	0.019015	0.018004	0.018004	0.017005	0.017006	0.029001	0.029001
98%値または2%除外値への換算	0.037	0.037	0.035	0.035	0.041	0.041	0.066	0.066
環境基準	0.06				0.1			
適合状況	○	○	○	○	○	○	○	○

※上り:三木市内から清掃センターへ向かう方向、下り:清掃センターから三木市内へ向かう方向

# 生活環境影響調査の結果(6)



## 6 廃棄物運搬車両の走行による影響

### (3) 騒音レベル予測結果

地点	時間帯	バックグラウンド騒音レベル (dB)	廃棄物運搬車両による騒音予測レベル (dB)	将来騒音レベル (dB)	環境基準 (dB)	適合状況
		A	B	C=AとBの重合		
加佐西農作業所	昼 6:00~22:00	67.5	55.7	67.8	65	×
	夜 22:00~6:00	58.2	0	58.2	60	○
コミュニティスポーツセンター	昼 6:00~22:00	60.8	50.1	61.2	65	○
	夜 22:00~6:00	54.4	0	54.4	60	○

- 現状で、バックグラウンド騒音レベルが環境基準を超えている
- 建設予定地の先にある周辺企業等へ向かう通勤等の普通車が多いことが原因である

### (4) 振動レベル予測結果

地点	バックグラウンド振動レベル (dB)	廃棄物運搬車両による振動予測レベル (dB)	将来振動レベル (dB)	基準値* (dB)	適合状況
	A	B	C=AとBの重合		
加佐西農作業所	45	12.6	45.0	55	○
コミュニティスポーツセンター	30	9.4	30.0	55	○

## 生活環境影響調査の結果(7)

### 総合的な評価

- ・施設稼働に伴う「大気質」「振動」「悪臭」、廃棄物運搬車両の走行による「大気質」「振動」に関しては、生活環境保全の観点より設定した環境基準値を満たす。
- ・施設稼働に伴う「騒音」、廃棄物運搬車両の走行による「騒音」に関しては、一部の時間帯において基準値を超過したが、周辺状況によるものであり、現況と同程度の環境が維持される。
- ・以上により、本事業が周辺への生活環境へ与える影響は軽微であり、本事業の実施後も現況の生活環境が維持される。